

子ども達の農業体験学習等を通じた活動の展開

うれし

嬉農空間保全協議会（大阪府富田林市）

- 本地区は、農村コミュニティが残るなか、農地保全の強い意識をもっている。しかし、農家の高齢化とともに、遊休農地化が今後進むことが懸念される。
- 小学校や保育園等と協力して農業の体験学習等を実施するとともに、休耕地を活用した農薬や肥料を使用しない自然農法を都市住民も参加して実践している。
- この活動を通じて、農業景観を次の世代へつなげていくため、地域共同で農空間の保全に取り組む意識の向上を図っていく。

【地区概要】

- ・取組面積
14.1ha（田13.5ha、畑0.6ha）
- ・資源量
開水路24.0km、農道19.5km、
ため池4か所
- ・主な構成員
農業者、町会、農業実行組合、
- ・交付金
約41万円（R03）

活動開始前の状況や課題

○本地区は、水資源に恵まれ、良質な米を生産しており、良好な景観（環境）を維持しようという気運が高い。しかし、農業後継者の目処が立っておらず、遊休農地化が今後進むことを懸念している。



○また、休耕地を活用して、農薬や肥料を使用しない自然農法を都市住民も参加のもと実践し、協働型の農地保全の取り組みを進めている。



取組内容

○地元小学生や保育園児等を対象とした体験学習を実施

田植え体験



稲刈り体験



取組の効果

○幼稚園、保育園、小学校から249人が農業の体験学習に参加し、作業の大変さや収穫の嬉しさなど、農業の理解増進につながった。



レンゲの摘みとり

○約1haの農地において、自然農法を実践し、農業体験によって農家を目指すきっかけづくりと農地の保全活用を図ることができた。